

年頭にあたって

新年あけましておめでとうございます。

昨年の組合員・ご家族の皆様の諸行動に感謝し、今年も更なる奮闘をお願い致します。



東京車両所分会
執行委員長 板倉 晋

昨年は、年々増す自然の驚異に対し新たな心構えが必要と感じました。特に台風による風や大雨で甚大な被害をもたらしました。職場でも通勤災害が多く発生し混乱しました。私たちは、会社の対応についても検証し問題点を申入れてきました。

そんな国難の時代に安倍首相は改憲の野望を達成する為、権力を自分に集中させ物言えぬ社会をつくりだし、やりたい放題のことをしています。そんな安倍政権に対して憲法改悪に反対する仲間の結集が必要です。

診断書強要都労委闘争では、昨年9月都労委から全面勝利の命令が出されました。多くの組合員、OBの支えによる勝利です。改めて御礼申し上げます。会社は再審申請し、闘いの場は中央労働委員会に移りましたが、命令が覆ることはないと確信しています。更なる支援とご協力をお願いします。

昨年「新しい人事・賃金制度等」の見直しが提案され、社員向けリーフレットが配布されました。問題点が多いので、私たちは妥結することなく会社との交渉を継続しています。今後も問題点を内外に明らかにし、改善を求めます。

職場では、新たにタブレットが導入されましたが、ソフト面、ハード面ともトラブルが多く発生しています。また教育と称して様々な事案に対して『個人宣言』を書かせ、トラブルや事故の責任を労働者個人に押し付け、物言えぬ社員作りと『些細なミスも許されない!』という姿勢で社員管理の強化がなされています。私たちは、問題解決、職場諸要求実現に向け奮闘します。また、他労組の仲間にも共に闘う事を訴えていきます。

さらに、出向先会社の労働条件や職場環境改善に向け、新幹線地本や出向先会社の社員の方々とも連携し取り組んでいきます。

忙しい日々が続きますが、元気に頑張りましょう！
分会執行委員会は、その最先頭で奮闘します。



本年もよろしく申し上げます。

2020年 元旦